

2017年度第2回構造最適化と設計小委員会議事録

日時：2017年9月3日（日）13:30～14:30

場所：広島工業大学 鶴体育館 ブース D

出席者：小野聡子（近畿大）、寒野善博（東京工大）、國光修五（ユニオンシステム）、澤田樹一郎（島根大）、高田豊文（滋賀県立大）、永野康行（兵庫県立大学）、藤田皓平（京都大）、松本慎也（近畿大）、山川誠（東京電機大）、和田大典（梓設計）

欠席者：大崎純（京都大）、木村俊明（佐々木睦朗構造計画研究所）、笹谷真通（東京電機大）、平田裕一（三井住友建設）、松尾智恵（川口衛構造設計事務所）

記録：國光

1. 委員交代・追加について

梓設計和田氏、近畿大学松本先生が7/26の構造本委員会で承認され正式に委員となった。

2. 前回議事録の確認

修正意見はなく了承された。

3. 理論応用力学講演会 OS 報告（藤田委員）

第64回理論応用力学講演会（2017年8月24日@機会振興会館）にて、『建築構造設計における最適化プログラムの利用に関する意識調査アンケートその1 アンケート調査及びヒアリング結果』『その2 回答者の属性別分析』についてその1は松尾委員、その2は藤田委員がそれぞれ報告を行ったという報告が藤田委員よりあった。また、質疑について報告があった。

アンケートでは分析しやすさの観点から、5段階評価での回答、否定的な選択肢、属性の確認（学生、研究者、設計者、技術者など）などの意見があった。また、九州支部など地方でもアンケートをすることで、地域性が出て良いのではないかという意見があった。

「コロキウム構造形態の解析と創生 2017」でもアンケートを実施予定であるので、上記を踏まえて改訂版の案を出していただきたい。

4. 今後の活動について

山川主査より、2018年度委員会活動計画案、刊行予定書、刊行企画書、調査研究委員会主催し物企画書のそれぞれの資料の説明があった。

セミナーを3年目（2018年12月頃）に、PDを4年目に実施してはどうかという案が示された。セミナーとPDそれぞれで委員を分担して発表してもらいたいとのこと。それぞれの構成については今後、本小委員会で検討を行う。

5. 例題集

例題について、委員会とは別に集まって検討する。小野委員が建築学会大会（中国）学術講演会で発表された天津タワーの例題も書籍に含めてはどうか。

6. 書籍について

2019年5月に脱稿予定。脱稿とは査読が終わり、修正まで終わっている状態。新委員の松本先生には担当箇所のタイトル案を出していただく。

7. コロキウム構造形態の解析と創生について

山川主査より、コロキウム構造形態の解析と創生の告知が行われた。

新委員には基本担当はないが、和田委員には別途、担当依頼があった。

次回 2017/11月 日程は調整する。